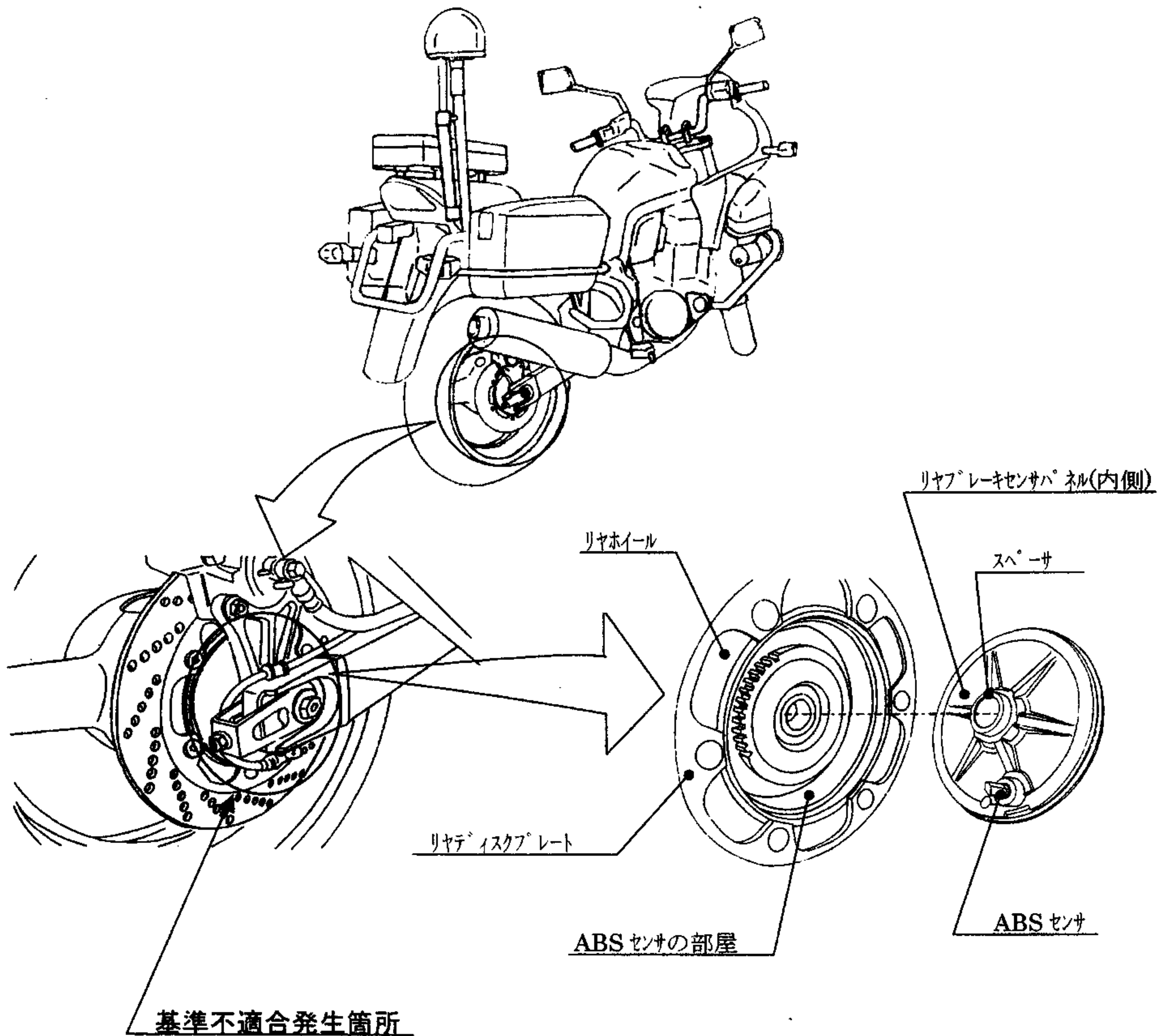


改善箇所説明図



前後輪において、アルミ製スピードセンサパネルにスペーサを圧入する作業が不適切なため、圧入した際に当該パネルからアルミ片が発生したものがあり、走行中の振動等により当該アルミ片が当該パネルとホイールの間にあるABSセンサの部屋内に脱落して留まっていることがある。そのため、ブレーキの多使用等によりホイールの温度が上昇した状態でアルミ片が当該パネルとホイールの間に挟まった場合、当該アルミ片が当該隙間部で一時的に固着し、ホイールが円滑に回転しなくなり、最悪の場合、当該パネルがホイールと固着してパネルが回転し、ABSセンサが周辺部品と接触して破損し、警告灯が点灯してABSが機能しなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、前後輪のスピードセンサパネルとホイール間のABSセンサの部屋内及びパネル軸部周辺のアルミ片の有無を確認し、アルミ片のあるものは取り除く。また、既にアルミ片が隙間部に固着しているものは、アルミ片を取り除くとともに、傷ついた部品を新品に交換する。